

美里町政策評価委員会 評価(中間)報告書

【平成 25 年 12 月 24 日】

担当評価委員	宮城大学 看護学部 教授 塩野 悦子		
評価対象年度	平成 2 5 年度	施策担当課	子ども家庭課
分野分類名	健やかで安心なまちづくり		
評価対象	政策 1 0 / 子育て支援の充実		
	施策 3 0 / 働きながら子育てを行う家族を支援するための対策		
意見内容			
保育所待機児童対策においては、小牛田保育所分園増室により待機児童は 1 6 名うち 1 歳児 6 名、2 歳児 5 名の 1 1 名が入所し、0 歳児の 5 名（小牛田地域 2 名、南郷地域 3 名）に減少した。南郷地域では 0 歳児の待機児童は保育士確保（2 名）で解消されるが、小牛田地域では保育室の面積要件にて 2 名の受け入れは難しい状況である。保育士を確保するために賃金等の改善（賃金改善・臨時職員から非常勤職員とし月額報酬制・継続雇用・社会保険加入など）を行っているが未だ不足している状態である。 その他の対策としては、保護者の他市町認可保育所への受入れ支援、町内認可外保育所施設入所に対する助成金制度などに取り組んでいる。 不動堂の放課後児童クラブにおいては、現在、駅東の住宅建築ラッシュによる世帯増により利用者が増大している状況となっている。現在、利用者は 5 7 名で来年度の利用予定者は 7 5 名を超える見込みとなる。現在、4 教室のうち 2 教室を活用しているが、残り 2 教室を平成 2 6 年度から活用できるように、年度内に改修し利用できるように計画されている。1 2 月議会の補正予算で検討調整をしている。 子ども医療費助成においては、基準所得額 3 4 0 . 1 千円から 6 2 2 万円に引き上げ、入院時の医療費助成年齢を満 1 5 歳までに引き上げを実施した。しかし、宮城県の乳幼児等医療費助成（通院）が 3 歳未満までと全国でも最低レベルとなっているため、宮城県に対し、今後も乳幼児等医療費助成（通院）の対象年齢引き上げの要望を継続する必要がある。			